

石黒忠憲

いしぐろ ちかひ

陸軍軍醫。弘化二年一月十一日陸奥國伊達郡生乳。

昭和十六年四月二十六日歿（八四—一九四二）。舊姓平野、幼名庸太郎、

通稱恆太郎、初名忠恕・忠徳。號況翁、況齋、半月庵。慶應元年醫學

所に入り西洋醫學を學ぶ。明治二年大學少寮長心得、四年兵部省軍醫

寮に移り軍醫制度の設けに盡力。軍醫總監、陸軍省醫務局長を歴任。

二十五年貴族院議員、大正六年日本赤十字社社長。子爵。

著書『長生法』

（明治六年十一月有喜書屋藏）

『白清戰役名將文集』（合

著・笠原保久編著、第一編・明治二十一年五月二十日、第二編・二十

二年四月二十九日發刊・葦文社）、『況齋閑話―附況齋談片』（明治

二十四年十一月十一日博文館）、

『男女學生氣質（附）學生生活復法』（合

著・新八論社―高島大圓編、明治二十九年二月二十九日鶴聲堂書店・

井冽堂）、『老錄（況翁閑話後篇）』（大正十二年八月二十日實業之

日本社）、『明治天皇御聖徳公軌』（大正十五年六月二十日陸軍士

官學校高等官集會所「陸軍士官學校生徒課外講演」）、『懷旧九十年』

（昭和五十八年四月十八日岩波書店「岩波文庫」）等。